

# 一般質問

議案以外の市政全般に関する質問を一般質問といいます。  
25名の議員が行った一般質問のうち、主な質問と答弁の要旨等を掲載しています。

## 自由民主党

**猪又 隆広 議員**  
学校トイレの洋式化を見る化し、目標値を示すべき、令和10年度で80%を目指す。  
○六郷地区公園ストック再編で利用満足度の高い公園整備を、狭陰道路解消への取り組み、障害者スポーツの一層の推進

**千葉 修平 議員**  
「市民遺産制度」を創設し、地域の歴史資産の保存に取り組む団体の活動支援を。

**加藤 和彦 議員**  
地域の特色を生かした教育の雇用の生み外から人を呼び込む学校跡地施設の活用、移住者への住宅支援等、市西部中山間地域の総合的な人口減少対策を推進すべき

**野田 謙 議員**  
仙台駅前エリアの再開発に向けて踏み込んだ支援を、主体的に関わりを発信する。泉区内の団地再生に向け、団地開発者との連携を。引き続き官民連携を図る。

## 公明党

**鈴木 勇治 議員**  
弾力的に取り扱える市街化調整区域の開発許可基準は国の助言に倣って見直すべき。  
○国の助言を参考に、実情等を踏まえ見直しを検討する。

**竹中 栄雄 議員**  
いじめ被害生徒の不安をなくすため、公立高校入試の調査書の出欠記録欄を廃止すべき  
○いじめてい切れる仙台市へ  
○いじめ重大事態の早期認定

**小野寺 裕 議員**  
子ども意見の受け入れ体制  
○PTA等と仕組み対応連携を、単身高齢者の住まいを確保するため、地域を挙げた支援体制の構築。

**嶋中 貴志 議員**  
仙台防災枠組の今後の推進について伺う。

**山崎 純 議員**  
共同生活住居整備促進事業補助金の要件を緩和し弾力的な運用とすべき  
○不法投棄された側が不利益を被る理不尽の是正  
○外国人居住者に粗大ごみの正しい処理方法を学んでいた  
○周知啓発と機会の提供

**沼沢 しんや 議員**  
保育士専用の外部相談窓口を創設し、保育人材の定着支援に取り組みを。離職防止が期待できるため、他都市の事例等を調査する。  
○オンライン診療、自動運転



仙台区の顔であり、東北のゲートウェイとして重要な役割を持つ仙台駅前エリア



健康な歯を維持するため、歯周病検診の拡充を

**市民フォーラム仙台**  
いじめ被害生徒の不安をなくすため、公立高校入試の調査書の出欠記録欄を廃止すべき  
○いじめてい切れる仙台市へ  
○いじめ重大事態の早期認定

**吉田 じょう 議員**  
市は大規模改修中も児童館の全ての機能の維持に責任を  
○放課後児童クラブ併当配送モデル事業対象拡大と費用補助  
○児童クラブ保護者負担金の減免対象拡充を今すぐ  
○各区で中高生の居場所整備を  
○屋内遊び場の早急な整備を

**日本共産党**  
○粗大ごみ自己搬入の土曜受付  
○災害時要援護者情報登録制度の抜本的見直しを求める  
○誘客促進に向け、**オールド**仙台コースの整備検討を。  
○トレッキングコース設定に向けた基礎調査を実施し、整備に向けた取り組みを進める。  
○災害時要援護者情報登録制度の抜本的見直しを求める

## 一般質問

### せんたい自民・参政の会

**大河原 ふゆこ 議員**  
共同親権導入前に子どもの福祉向上に向け対応準備を  
○子どもの健全な人格形成に不可欠な親子交流への支援を  
○共同養育の考え方の啓発と計画作成の支援体制構築  
○親の子ども連れ去り予防策を  
○コロナワクチンのリスク明示

**菊地 崇良 議員**  
秋保や愛子地区等へのメガソーラー設置で顕在化した自然環境への影響や土地利用の国土保全に対する問題意識は、森林保全を図る等のため、環境アセスメントの制度を強化する等で適切に対応する。  
○外国資本の土地買収への懸念

**佐藤 正昭 議員**  
形だけの女性管理職登用ではなく、ポスト職への女性職員の数となる登用を求める  
○スピード感と当事者意識を持ち施工不良メンテナンス対策を  
○全国に先駆けてマンション簡易検査の費用助成制度を創設し、住民の不安を払拭せよ



子どもたちの利益のために離婚後も父母双方が子育てに関わる共同養育が必要

## 一般質問

### ひぐちのりこ 議員

**仙台 維新**  
子ども医療費助成の18歳拡充  
○給食費完全、一部無償化  
○牛乳停止の代金、栄養面対応  
○給食食材としての食用コゴロギの不安、米飯米粉パンの推進  
○公園で自転車、花火の利用を  
○公園ネーミングライツの拡充  
○マンホール蓋を広告媒体に

**早坂 千亜紀 議員**  
子ども医療費助成の18歳拡充  
○給食費完全、一部無償化  
○牛乳停止の代金、栄養面対応  
○給食食材としての食用コゴロギの不安、米飯米粉パンの推進  
○公園で自転車、花火の利用を  
○公園ネーミングライツの拡充  
○マンホール蓋を広告媒体に

**東城 ひろみ 議員**  
行政自らが財源確保の努力をしない宿泊税導入に反対  
○DV等を除く共同親権の推進  
○包括的性教育に関する、外部講師選定基準の厳格化  
○パートナーシップ条例の制定



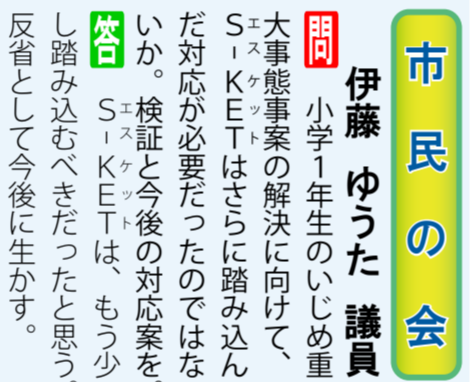
フレイル予防対応教室の様子

## 審議の概要

### 市民の会

**伊藤 ゆうた 議員**  
小学1年生のいじめ重大事態事案の解決に向けて、S・K・E・Tはさらに踏み込んだ対応が必要だったのではないかと。検証と今後の対応案を、S・K・E・Tは、もう少し踏み込むべきだと思つた。反省として今後に生かす。

**自由民主党フォーラム**  
渡辺 博 議員  
市政と市民の距離感への懸念  
○東北大学の知を公教育へ  
○市有施設の有効活用で本市ならではの遊戯施設実現を  
○公的行事における市旗の掲揚と市立学校の掲揚施設整備  
○職場環境等、市職員に関心を  
○市政を支える企業への支援を



いじめ等相談支援室S・K・E・Tはさらに踏み込んだ対応を

## 審議の概要

### 市民の会

**高村 直也 議員**  
住宅用初期費用ゼロ太陽光発電システム導入事業の補助金を増額し家計を支援せよ  
○住宅への太陽光発電システム設置義務化とともに検討する。  
○市有施設での脱炭素化推進  
○生態系を豊かにする混交林化

**高村 直也 議員**  
住宅用初期費用ゼロ太陽光発電システム導入事業の補助金を増額し家計を支援せよ  
○住宅への太陽光発電システム設置義務化とともに検討する。  
○市有施設での脱炭素化推進  
○生態系を豊かにする混交林化

# 調査特別委員会 委員長報告

令和5年10月13日に委員が選任された調査特別委員会の1年間の活動概要が、9月3日の本会議において各調査特別委員長から報告されました。

**防災環境都市調査特別委員会**  
委員長 加藤 けんいち  
副委員長 田村 勝  
本委員会は、東日本大震災の記憶を風化させない取り組みの推進と、多様な市民が主体となった地域防災力の向上および災害に強い防災環境都市の実現を目的として設置され、「防災・環境の視点を踏まえた公共施設の在り方」をテーマに、6回にわたって持続可能な都市運営を行う

**子育て環境充実調査特別委員会**  
委員長 小田島 久美子  
副委員長 ふるくぼ 和子  
本委員会は、少子化が進む中、次代の社会を担う子どもたちが健やかに育つことのできるよう、子育て環境の充実を図るとともに、いじめ防止および子どもの権利に係る社会全体の意識の醸成の取り組みの推進を目的として設置され、「一人一人の成長」をテーマに、6回にわたって委員会を開催しました。

**文化芸術・スポーツ振興調査特別委員会**  
委員長 石川 建治  
副委員長 佐藤 和子  
本委員会は、文化芸術およびスポーツを通じた地域活力の創出や市民一人一人の生きがいづくりなどに向けて文化芸術およびスポーツ資源を活用した取り組みの推進を図ることを目的として設置され、「スポーツに親しむための身近な環境づくり」をテーマに、6回にわたって委員会を開催しました。スポーツは人々の健康や日々の楽しみ、達成感や他者との関わりなど、心身や社会へ前向きな影響を与える大きな力を持っています。コロナ禍により人々がスポーツをする機会が減少し、関心の低下が懸念される中、自発的に参加する意識の醸成が肝要です。当局には、より充実した取り組みを構築し、市民がスポーツに親しむための環境づくりへ一層取り組むことを求めます。

**歴史まちづくり調査特別委員会**  
委員長 西澤 啓文  
副委員長 いのまた 由美  
本委員会は、特色ある歴史資産を活用した戦略的まちづくりに取り組み、都市の魅力と個性を発揮していくために必要な諸施策の推進を図ることを目的に設置され、「広瀬川が育んだ歴史資産を生かしたまちづくり」をテーマに、6回にわたって委員会を開催しました。歴史資産を活用した魅力あるまちづくりを進めていくためには、資産の掘り起こし等とともに、各資産が持つ歴史的、文化的なストーリー性も含めてさまざま組み合わせながら新たな価値を作り出すことが重要です。当局には、歴史資産を保存、継承しつつ観光や景観といった多角的な視点からまちづくりを進めていくために、関係局の連携をより一層強化し、計画的かつ戦略的な取り組みの推進を求めます。

**DX推進調査特別委員会**  
委員長 高橋 たくみ  
副委員長 じょうこ 正太郎  
本委員会は、デジタル社会の進展が加速し大きな社会変革が求められている中、ビッグデータおよびAI等の活用促進により、デジタル社会環境を構築し、行政の業務効率化と行政手続きのDX化による市民サービスの利便性向上と各種情報発信の推進を目的に設置され、「行政のDX化の着実な推進」をテーマに、6回にわたって委員会を開催しました。

**スマートフォンセッション(注1)**  
(4面2段)  
地方公共団体が所有・取得する廃校等の遊休不動産について、民間の創意工夫を最大限に生かした小規模なPPP・PFI事業(官民連携)を行うことで、地域課題の解決やエリア価値の向上につなげる取り組み。  
●**オールド(注2)**(4面4段)  
韓国済州島で「通りから家に通じる狭い路地」を意味する方言。転じて自然や民家の路地などを身近に感じ、ゆつくり楽しむながら歩くトレッキングのこと。県内には「宮城オールド」として複数のコースが整備されている。  
●**混交林(注3)**(4面4段)  
2種類以上の樹種からなる森林。天然林の多くは混交林であり、特に針葉樹と広葉樹からなる混交林は、生物多様性や土砂流出防止などの公益的機能を高める効果がある。  
●**ブランディング(注4)**  
(5面3段)  
ブランドの価値を高め、顧客や社会全体に、特定の商品やサービスを「独自のもの」として認識させ、他のサービス等との差別化を図る活動のこと。  
●**フツ化物洗口(注5)**(6面2段)  
フツ化ナトリウム溶液を用いて、約1分間「フクブクうがい」を行う方法。特に、4歳から開始し、中学卒業時まで継続実施することで、永久歯の虫歯予防効果が期待できる。  
●**暗所視支援眼鏡(注6)**  
(6面4段)  
暗い場所で見えにくい方を支援する眼鏡型の電子機器。フレーム中央の高感度小型カメラが撮影した暗い場所の映像をコンピューター処理することでわずかな光を増幅させ、目の前のハイファイ層のディスプレイにカラーの鮮明な映像をリアルタイムで投影でき、明暗、ズーム、コントラスト等の調整機能を有する。  
●**排泄予測支援機器(注7)**  
(6面4段)  
尿意を感じることが遅い方などの下腹部に超音波センサーを貼り付け、ぼうこう内の尿をリアルタイムで計測し、排尿のタイミングをスマートフォン等に事前に通知する電子機器。尿意を感じてからでは排尿が間に合わない方でも、余裕を持った行動が可能となる。  
●**ペロプスカイト太陽電池(注8)**  
(6面5段)  
ペロプスカイト結晶構造を持つ化合物を発電層として用いる太陽電池材料をフィルム等に塗布して製造でき、薄く軽量で折り曲げが可能。従来の太陽電池が設置できない壁面への設置など普及が期待されている。  
●**スマート・ティーチャー(注9)**  
(6面6段)  
講習等により高齢者がスマートフォンを使い方を習熟するに關し、実習を通して他者への教え方に関するスキルを身に付け、操作を教わる側から教える側へ移行していく取り組みを行っている東北大学・NTTコミュニケーションズ株式会社・本市の連携事業で育成された、教える側の高齢者の名称。  
●**フロン語(注10)**(7面4段)  
フロン語で「公共善のために」を意味するPro Bono Publicoを語源とする言葉で、自身が持つ専門知識や経験を生かして社会貢献活動を行うボランティア。

# 用語解説

本文中に紫文字で表記した用語を解説しています。

●**スマートフォンセッション(注1)**  
(4面2段)  
地方公共団体が所有・取得する廃校等の遊休不動産について、民間の創意工夫を最大限に生かした小規模なPPP・PFI事業(官民連携)を行うことで、地域課題の解決やエリア価値の向上につなげる取り組み。  
●**オールド(注2)**(4面4段)  
韓国済州島で「通りから家に通じる狭い路地」を意味する方言。転じて自然や民家の路地などを身近に感じ、ゆつくり楽しむながら歩くトレッキングのこと。県内には「宮城オールド」として複数のコースが整備されている。  
●**混交林(注3)**(4面4段)  
2種類以上の樹種からなる森林。天然林の多くは混交林であり、特に針葉樹と広葉樹からなる混交林は、生物多様性や土砂流出防止などの公益的機能を高める効果がある。  
●**ブランディング(注4)**  
(5面3段)  
ブランドの価値を高め、顧客や社会全体に、特定の商品やサービスを「独自のもの」として認識させ、他のサービス等との差別化を図る活動のこと。  
●**フツ化物洗口(注5)**(6面2段)  
フツ化ナトリウム溶液を用いて、約1分間「フクブクうがい」を行う方法。特に、4歳から開始し、中学卒業時まで継続実施することで、永久歯の虫歯予防効果が期待できる。  
●**暗所視支援眼鏡(注6)**  
(6面4段)  
暗い場所で見えにくい方を支援する眼鏡型の電子機器。フレーム中央の高感度小型カメラが撮影した暗い場所の映像をコンピューター処理することでわずかな光を増幅させ、目の前のハイファイ層のディスプレイにカラーの鮮明な映像をリアルタイムで投影でき、明暗、ズーム、コントラスト等の調整機能を有する。  
●**ペロプスカイト太陽電池(注8)**  
(6面5段)  
ペロプスカイト結晶構造を持つ化合物を発電層として用いる太陽電池材料をフィルム等に塗布して製造でき、薄く軽量で折り曲げが可能。従来の太陽電池が設置できない壁面への設置など普及が期待されている。  
●**スマート・ティーチャー(注9)**  
(6面6段)  
講習等により高齢者がスマートフォンを使い方を習熟するに關し、実習を通して他者への教え方に関するスキルを身に付け、操作を教わる側から教える側へ移行していく取り組みを行っている東北大学・NTTコミュニケーションズ株式会社・本市の連携事業で育成された、教える側の高齢者の名称。  
●**フロン語(注10)**(7面4段)  
フロン語で「公共善のために」を意味するPro Bono Publicoを語源とする言葉で、自身が持つ専門知識や経験を生かして社会貢献活動を行うボランティア。